

やまゆり園事件から8年、 障害者の自立生活を考える

——ドキュメンタリー映画「道草」上映会＋監督講演



第58回社会福祉のフロンティアでは、重度知的障害者の介護つき自立生活を描くドキュメンタリー映画『道草』の上映会を開催する。映画は、家族や介護者、地域の人々との関わりをのなかで成立する彼らのひとり暮らしを追い、そこでの和やかな時間だけでなく、混乱や「行動障害」をも映し出す。また上映後は、この映画の監督による講演と、参加者を交えたディスカッションを通じて、障害者の自立生活とそれを支える社会のありようを考える。2016年7月に発生した津久井やまゆり園事件から8年が経とうとしているいま、今回は事件の被害者たちを追悼し、昨今社会的関心が薄れがちな障害者福祉に再び目を向ける機会を参加者に提供する。

講師：穴戸 大裕 氏（映像作家）

<講師プロフィール> 学生時代、東京の自然豊かな山、高尾山へのトンネル開発とそれに反対する地元の人びとを描いたドキュメンタリー映画『高尾山 二十四年目の記憶』（2008年）を製作。その他の作品に、東日本大震災で被災した動物たちと人々の姿を描いた『犬と猫と人間と2——動物たちの大震災』（2013年劇場公開）、人工呼吸器を使いながら地域で生活する人々を描いた『風は生きよという』（2016年劇場公開）、知的障害がある人の入所施設での人生を描いた『百葉の葉 さやま園の日々』（2016年製作）がある。現在、難病 ALS を抱えながら生きる人々の3年半を描いた最新作『杳かなる（はるかかなる）』の公開準備中。

司会・コーディネーター：河野 哲也（立教大学文学部教授）

2024年7月6日（土）15:00～18:00
立教大学 池袋キャンパス 7号館 1F 7101 教室

参加
無料

申込締切：7月5日（金）正午 事前登録制 右のQRコードからお申し込みください

● 学内、学外問わず、どなたでも参加できます

※ 字幕つき上映です

※ 配慮が必要な方は、直接事務局 (r-fukushi@rikkyo.ac.jp) までご連絡ください。可能な限り対応させていただきます

お問合せ 立教大学社会福祉研究所 Tel：03-3985-2663

